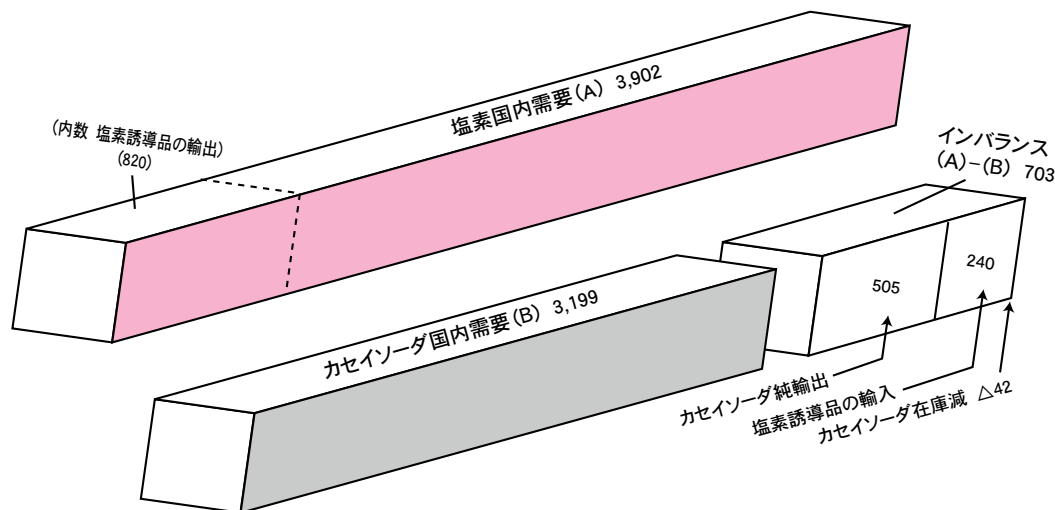


カセイソーダ・塩素のインバランスと塩素の輸出入 (2014年度)

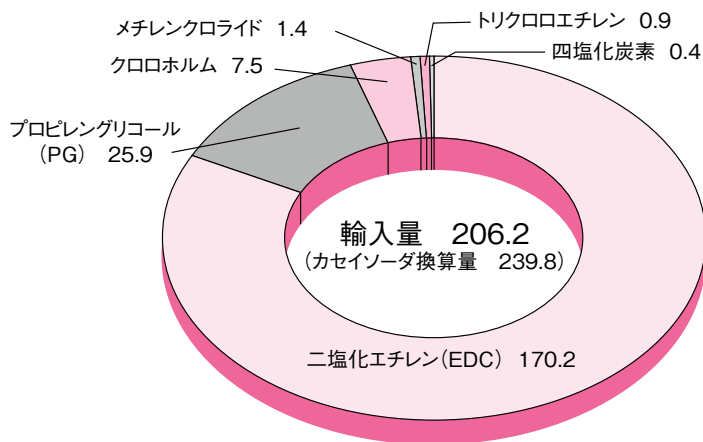
● カセイソーダ・塩素のインバランス (単位：千トン/カセイソーダ換算量)



注) インバランス 703 = 塩素国内需要 3,902 - カセイソーダ国内需要 3,199
 = カセイソーダ純輸出 (輸出 - 輸入) 505 + 塩素誘導品輸入 240 - カセイソーダ在庫減 42
 (単位未満四捨五入のため不整合の部分がある)

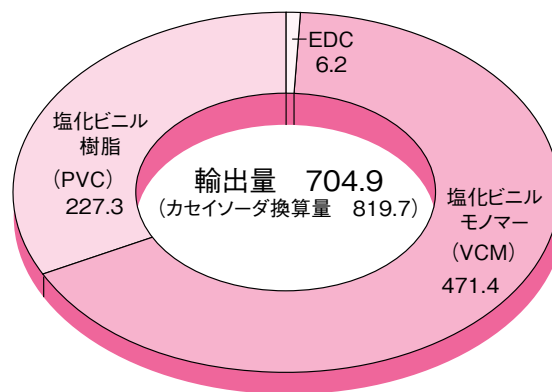
● 塩素誘導品の輸入

(単位：千トン/塩素換算量)



● 塩素誘導品の輸出

(単位：千トン/塩素換算量)



注1) 塩素の輸出量 704.9 千トンは、EDC、VCM、PVCの輸出量に推定塩素原単位を乗じて算出。
 注2) 輸出量の EDC は財務省貿易統計、VCM、PVC は塩ビ工業・環境協会統計による。

カセイソーダと塩素の国内需要の差をインバランスと呼んでいます。1965年(昭和40年)を境に塩素需要がカセイソーダ需要を上回り、この状況が現在まで続いています。

電解ソーダ工業では、カセイソーダと塩素という、性質も、需要先も異なった製品が同時に、一定の比率で製造されます。製造比率と需要比率が同じであれば、問題はありませんが、製造比率はカセイソーダ1に対して、塩素は約0.9となっています。一方、需要は逆にカセイソーダ1に対して、塩素は約1.22となっています。

このため、塩素需要に合わせて操業すれば、カセイソーダが余剰となり、逆にカセイソーダに合わせて操業すれ

ば、塩素が不足することになります。

2014年度のインバランス量は、国内塩素需要量3,902千トンから、カセイソーダの国内需要量3,199千トンを差し引いた703千トン(カセイソーダ換算量)となります。このインバランス量を解消するために、カセイソーダは輸出され、不足する塩素を塩素誘導品として輸入することになります。

その一方で、塩素も輸出されています。

塩素それ自体では輸出されませんが、塩ビモノマー(VCM)、塩ビ樹脂(PVC)、また、その原料(EDC)として輸出されています。2014年度の塩素輸出量は、819.7千トン(カセイソーダ換算量)になりました。